

園芸科学科

丹生川小学校との交流

花苗をプランターに植える

花の苗植えで交流

丹生川小児童と
飛騨高山高生

高山市丹生川町方の丹生川小学校4年生約40人が、同校を訪れた同市山田町の飛騨高山高校園芸科学科の生徒10人から花の苗植えを教わり、交流を深めた。

4年生は総合学習の一環で命の大切さを学んだり、来校者に楽しんでもらったりするため、学校の花壇造りに年間を通して取り組んでいる。交流は毎年行っており、同学科草花専攻の生徒がビオラの苗を持って小学校を訪れた。

生徒が苗植えの手順やコツを教えた後、児童と生徒はグループに分かれ、40個のプランターに3株ずつ植えた。児童は生徒から助言を受けながら、各自で選んだ紫や黄など好きな色のビオラの苗を、ポットからプランターに一株一株丁寧に定植した。

高校生が見守る中、丁寧に苗を植える児童ら。高山市丹生川町方、丹生川小学校



同小の若田紗季さんは「分かりやすく教えてくれて上手に植えることができた。枯れないように大切に育てたい」と話した。

(玉田健太)